

団体名：一般社団法人シヅクリ

企画提案書

1 プロジェクト名

シヅクリプロジェクト

2 実施理由・背景

静岡市内の高校1年生 16000 人に「静岡市に本社のある企業を知っているか」を問い、調査したところ、知らない(46%)、1社知っている(30%)、2社知っている(11%)【静岡市地域人事部資料 2019】という回答であった。子どもたちは社会を知ることもなく、静岡市を後にしているのである。

また、昨今の学校事情の中では、体調不良を訴える教員が急増し、離職率が拡大している。教職員の超過勤務の実態が大きく取り上げられ、採用希望者は激減している状況である。

若者流失、教育現場の混乱という現状を受け、静岡の創生(地域活性化)のためには、人財育成こそがその中心であるべきだと考えた。静岡の新たな未来を牽引する人財とは、多様な他者と協働しながら、新たな価値やビジョンを創造し、社会課題や生活課題に「新しい解」を生み出せる人である。こうした人財とは子どもたちだけでなく、静岡に住まうすべての人々でもあり、皆で答えのない社会課題と向かい合い、「目指す社会に向けて何を実現すべきか」ということを考えることが必要である。

産学官が一体となって静岡の未来を模索する取り組みが必要なのではないだろうか、2019.10.1静岡の学校と社会をつなぎ、大人と子どもが直接関わり、深く対話的に学び合うことで、静岡の未来を切り開くことを目的に一般社団法人シヅクリを設立し、シヅクリプロジェクトを立ち上げた。

3 プロジェクト内容説明・スケジュール

シヅクリプロジェクト参加校及び参画企業は、2021年度は、参加校19校(参加生徒数3514人)、参画企業18社であった。2022年度は、参加校25校(参加生徒数5000人)、参画企業32社に拡張した。

地域人財が持続的に育ち続ける次代コミュニティづくり:シヅクリプロジェクトの内容は以下の3点である。

① 教育ビジョン検討会

静岡における教育の課題や達成すべきビジョンを策定し、21世紀の教育を静岡でどのように実践していくのか多角的に議論するビジョン検討会を定期的(年3回6月10月2月)に開催する。

② 教育現場での実践

実施プログラムは、静岡の新しい可能性を発見し、静岡をより良くするために地元企業の社員と地域の教員、中学生・高校生が織り成す次世代型のキャリア教育プログラムである。参画企業は中高生が教室の中で学ぶ「教材」となり、導入前に、かかわる教員や企業人は、学校や企業の枠を超えて地域における自校・自社を再定義するワークに取り組み、生徒たちに伴走する。生徒たちは、15コマの正課の授業(総合的な学習・探究の時間)の中で、地域をより良くするコンサルタント「地域イノベーター」として実在する地元企業と出会い、企業の取り組みや技術、社員、顧客や社会とのつながり等の「リソース」を見つけながら、企業とともに、静岡の秘められた魅力や可能性を探究していく。

2023年5・6月 教員研修 企業人研修 教材作成

2023年7月～12月 各校正課の授業内でプログラム実践

2024年1月末 「静岡カップ」開催

③ 社会に向けた情報発信

学びの成果を社会に共有し、静岡の次世代育成を共に考える場「静岡カップ」を、令和6年1月末地元企業・教育関係者、市民対象に実施する。

4 目指すところ

来年にも、市内30校に導入、6000人の生徒(市内の中高生の2割)に学びを届けていこうと思う。その時かわる大人は300人程となる。多くの生徒と伴走する大人が未来創造型の学びを体験するに至ったとき、静岡に変化が起こるだろうと推測する。そこには地域の未来を自分事として捉え、その生成に主体的にかかわる人財育成の循環が生じるであろうと考えている。

生徒は、自己肯定感、社会参画意識を高め、進学、進路は確実に上向きになるであろうし、経験した地元地域への創造的な行為と成功体験の累積により、静岡愛が生まれ、アイデンティティとして個々の将来を明るく照らし出していくであろう。この時‘ふるさと’静岡が自身の原点として生徒たちの中に位置づいていることを期待する。

教員の意識の変容は学校文化を変えていくことになるだろう。教えることから学ぶことへの転換が図られ、ティーチングからコーチングへの行動変容が起こっていくであろう。そして、学校そのものについて問い直しが図られ、多くの人々をつなぎ、そこに集う人々が自身を成長させていくこれからの新たな学校像と可能性についての議論とアプローチが行われることを期待する。

企業人は、正解のない学びを子どもたちと共に体験することで、思い込みを外して物事を考えること、思いついたことはチャレンジしてみることで、常に本質に根ざして何度でもやりなおすことなど、仕事に取り組む姿勢が変わり、企業文化が向上し、地域社会創造機関の一員としての役割を果たしていくことを期待する。

5 寄附の使い道

上記シヅクリプロジェクトの発表の場「静岡カップ」開催のために寄附を活用していきたい。プログラム実践終了後、学びのさらなる深化を求めて「静岡カップ」を開催している。2022年度は、2023.1.21清水桜が丘高校にてファーストステージ、2023.1.29 しずぎんユーホニアホールにてセカンジステージ開催予定である。寄附対象の2024「静岡カップ」は全国大会を視野に置き、学びの成果を全国に発信するとともに、校種や学年を越え、互いに刺激を受け、学び合うことを目的とする。

「静岡カップ」開催にかかわる経費として、設計、広報及び人件費として100万円が必要である。寄附の返礼として、多くの市民の方々に「静岡カップ」を参観いただき、静岡の未来を展望する中・高生にエールを贈るとともに、静岡の未来づくりを自分事として捉えてほしいと思っている。

6 ネクストゴールの設定

ネクストゴール設定額：300万円

ネクストゴール設定時の事業計画

2022年シヅクリプロジェクトの取り組みが全国への広がりを見せ始めた。埼玉市では教育委員会が主導してトライアル実施が始まった。鹿児島市では産学官共同でつくる「薩摩会議」が主導してトライアルが始まった。横須賀市や大阪堺市でも準備が始まっている。

自分たちの地域に当事者意識をもって主体的に働きかけた生徒たちが静岡に集結し、「静岡カップ全

国大会」を開催したいと考えている。

ネクストゴールの設定が可能になった場合には、「静岡カップ」の充実を図っていきたい。具体的には、経済界や教育界よりコメンテーターを招集するとともに、静岡発の地方創生の取り組みとして全国の自治会に紹介し、静岡のアピールにつなげていきたい。

7 目標金額に満たない場合

目標金額に至らなかった場合は、現在リアル開催予定の「静岡カップ」ファーストステージ及びセカンドステージをオンライン形式の発表会に変更する。

8 団体紹介

(1) 団体等名称 一般社団法人シヅクリ

(2) 団体等種別 (法人格) 非営利組織(社団法人)

(3) 設立年月日 2019年10月9日

(4) 住所 〒4200881 静岡県静岡市葵区北安東2丁目21番25号

(5) 理事 山下由修(代表) 八木邦明 宮地勸司

(6) 事業目的及び内容

シヅクリプロジェクトは、構成されるコミュニティにより、地域の未来を担う次世代の生徒たちに、実社会を題材とした生きる力を育む探究型教育の機会を提供するとともに、かかわる大人たちが互いにつながり、ポテンシャルを引き出しあう人財開発を目的とする。

① 活動内容1 次世代型探究プログラムの実施

地元企業人、地域の教員、中・高校生が共に学び、地元企業のリソースを使って「地域をよりよくするイノベーションプラン」を展開する次世代型のキャリア教育プログラムを実施する。

② 活動内容2 企業人・教員の越境研修の実施

教員及び参加企業人は、所属の枠を超えて一つのチームとなって研修を行い、自校・自社の再認識や未来探究ワークに取り組み、未来思考の獲得と力量アップを図る。

③ 「静岡カップ」の開催

学びの成果を発表する場として、市民対象に開催する。

9 広報計画

(1) 「静岡カップ」開催に際して、後援申請

(参考)2021年度受諾団体

静岡県 静岡市 静岡市教育委員会 富士市教育委員会 沼津市教育委員会 静岡経済同友会

(2) 「静岡カップ」ポスターの作成と配布

(3) 「静岡カップ」パンフレットの作成と配布

(4) 静岡新聞に「静岡カップ」の様子を掲載予定

10 目標金額

100万円 ネクストゴール 300万円

積算書

団体名：一般社団法人シヅクリ

収入			1000 千円
	科目	内容・数量	金額
ふるさと寄附金	寄附金		1000 千円
合 計			1000 千円

支出			1000 千円
	科目	内容・数量	金額
事業費	印刷製本費	静岡カップパンフレット印刷製本費 静岡カップポスター印刷製本費	300 千円 200 千円
	ボランティア活動費 諸謝金	静岡カップ開催当日活動費 静岡カップコーディネータ費 (株式会社エスクラエイト)	68 千円 300 千円
そ の 他	手数料相当	12% + 税	132 千円
合 計			1000 千円

積算書(全国大会開催用)

団体名：一般社団法人シヅクリ

収入			1000 千円
	科目	内容・数量	金額
ふるさと寄附金	寄附金		3000 千円
合 計			3000 千円

支出			1000 千円
	科目	内容・数量	金額
事 業 費	会場費	グランシップ	300 千円
	印刷製本費	静岡カップパンフレット印刷製本費	500 千円
	ボランティア活動費	静岡カップポスター印刷製本費	300 千円
		静岡カップ開催当日活動費	304 千円
	諸謝金	静岡カップコーディネータ費 (株式会社エスクラエイト)	1000 千円
雑費	会場準備物借用料等	200 千円	
そ の 他	手数料相当	12% + 税	396 千円
合 計			3000 千円